寺報は無料、不要の方は一報下さい。

第２０４号

龍源寺報

盂蘭盆号

臨済宗・妙心寺派
住職　松原信樹
佛母寺住職　松原覚樹
正福寺住職　松原行樹
ＴＥＬ　3451－1853
ＦＡＸ　3451－6094

振込 00160-0-104918　東京都港区三田５丁目９－23（郵便番号 108－0073）
Email: info@ryigenji.com　URL: http://www.ryugenji.com

盂蘭盆会におもう

小さい花や大きな花　一つとして同じもの
はないから、ＮＯ、１にならなくてもいい
もともと特別な only one

という、ある有名なグループの歌の歌詞がある。何となく、曲を聴いていたときは、「いいな」と思っていたが、どうも、ここ数日、その歌詞が、私の中で、ひっかかっている。大乗仏教の考え方は、「悉有仏性（しつうぶっしょう）」といって、ことごとくに、「仏のいのち」が宿されていると説く。木も動物も虫も人間も、「いのち」としては、平等である。歌詞が、ひとつ、ひとつの「いのち」の尊さを説いているから、納得はするのだが、それをもう少し、踏み込んで、私はその歌詞を受けとめたい。

私は、「only one」を、精進、努力あってのものとして受け止めたい。言い訳ばかりをして、煩悩だらけの「only one」では、仕方がない。つきつめていくと、その辺に転がっている石ころでも、「only one」になる。私達は、普段、「only one」という言葉の意味を履き違えてはいないか。きっと、普段、私達は、個性としての「only one」を、人から言われたいのだろう。普段、人から言われないから、歌手が代わって言ってくれて、喜んでいる。そして、歌詞の中に、「ＮＯ、１にならなくてもいい」とある。しかし、かつての日本には、ナンバーワンを目指していた時代があったはずである。もう一度、私達は、足もとを見て、自分自身を見つめるべきではないか。

「腹をたてる」という言葉がある。私は、腹をたててもいい、でも怒ってはいけないと思う。発憤して、精進・努力することが、大切である。私の知人が言っていた。「うちの子供は今、幼稚園に通っているんだけど、かけっこをして、勝つということが、どういうことか解らないらしい。」と。かけっこをするんだけど、友達とおしゃべりしながら走るらしい。私は、そのことを聞いて、その子が発憤しない不安を覚えた。発憤させて、人にやる気にさせることを、仏教では、「菩提心（ぼだいしん）を抱かせる」という。禅の修行では、一番大切なことだ。釈尊は、いろんな譬喩を使い、修行者達に菩提心を抱かせた。私達も日々の生活から、色々な気づきを感じ取りたい。

生まれて、数えるくらいしかいかない、カラオケだが、色々な気づきをみつけた日であった。きっとこれも、縁なのであろう。

経蔵寄付

金五万円也　野島博子殿
金五万円也　鎮目大三殿
金三万円也　葛谷俊夫殿

北軽井沢　日月庵坐禅堂寄付

金五万円也　武内隆幸殿
かほり殿

ありがとうございました

＊経蔵建立のこと

泰道和尚から三代続く境内整備の事業を引き続き、私の代でも継承し、将来は、境内の一角に『大般若経』を納める経蔵を建立したいと思っております。『大般若経』を納める所以は、泰道師・哲明師が、『般若心経』を説き続けてきたことによります。『大般若経』の写経も順調に進んでおります。ご寄進は、その基金にさせていただきます。

ウラボン法要

一、七月十日（木曜日）午前十一時から
一、法　話
一、斎　座

・新盆の法要を行います。
・ご家族そろってお参りください。

●お車での来寺には、駐車場がありません。

龍源寺への交通の便（地下鉄）

●都営三田線（目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分）
●2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便（都バス）

●田87　渋谷駅 ― 田町駅　魚ラン坂下下車
●都06　渋谷駅 ― 新橋駅　古川橋下車
●品97　品川駅 ― 新宿駅西口　魚ラン坂下・古川橋下車
●反96　五反田駅 ― 品川駅 ― 六本木ヒルズ（循環）
魚ラン坂下・古川橋下車
●東98　東京駅丸の内南口 ― 目黒駅　魚ラン坂下下車

新刊紹介

『野菜のごちそう　お寺の常備菜とおかず』

松原真紗子

大和出版

定価千二百円＋税

『お寺のおくさんが作るおかず』の改訂版。普段、龍源寺の食卓にあがる料理を掲載。通常、大人数を対象につくるため、二人分という本の設定に苦慮しました。私個人的には、「にんじんと油揚げの煮物」が、大好物です。本を読まれ、実際に作られた方に、何が美味しかったかお聞きしたいです。

（住職）

北軽井沢　日月庵坐禅堂　禅の会

北軽井沢日月庵坐禅堂にて毎年恒例の「禅の会」を開催いたします。日月庵禅の会は、作務（布団の整理・枝打ちなど）・坐禅・そして、ささやかな親睦会を行います。坐禅の時間は、さほどとれませんが、坐禅初心者の方にはよろしい機会かと思います。万障お繰り合わせの上、是非ご参加いただければと思います。

【日時】　平成二十六年八月二十三日（土曜日）～二十四日（日曜日）一泊二日

日月庵に現地集合・現地解散

ベテランの方は、八月二十二日（金曜日）より、ご参加お願いいたします。

八月二十三日：午前十一時、星雲苑研修所集合　※昼食は持参してください。

八月二十四日：午前十時頃解散

会費：三千円

持ち物：シーツとタオル2枚

龍源寺の定例会

禅の会（坐禅体験）

指導：松原信樹

定例日：毎月第一土曜日。（一月は、午後の部のみ開催）

時間（二回）：午前十時～十二時、

午後一時三十分～三時三十分

内容：坐禅とお話

会費：来会の時二百円

その他：晩夏又は初秋に北軽井沢・日月庵でも開催

サラリーマンの方・女性の方・学生・会社の社長さん様々です。大体五十人～八十人位。年二回春と秋に行われる軽井沢「作務の会」も長年にわたる恒例行事のひとつです。

花柳紅緑

五月は八日から二週間ほど、京都の本山、妙心寺に詰めておりました。皆様に、ご迷惑をおかけいたしました。境内のお花は今、亡き祖母が植えたジャスミンの一種であるマツリカが咲き誇っています。▼住職一人ということで、今まで通りの行程で、棚経のお参りができなくなりました。旧来から伺わせて頂いているお檀家様には、お参りの日にちを、いつも通り六月中におはがきでお知らせ致します。皆様には七月十日・午前十一時より龍源寺本堂にて厳修される盂蘭盆会・お施餓鬼の法要にご出席いただきたいと思います。たくさんのお寺さんに御出頭いただく龍源寺で一番大きな行事です。▼お檀家様で、お葬式をだされる場合、知っている葬儀社がない方は、葬儀社を紹介させていただきます。いざ、ご家族が亡くなると、なすべき事がたくさんありすぎて、慌ただしいのが現状です。仏事に慣れている僧侶の私でさえ、非常に慌ただしい体験をしました。もし、お葬式をだされる場合、僧侶がいないとお葬式ができないゆえに、まず、一番はじめに龍源寺にお電話を入れていただきたいと思います。龍源寺本堂もしくは、花園会館を使用してのお葬式・家族葬・密葬も執り行うことができます。（本堂・花園会館使用の際は、指定業者となります。）又、生前のご相談もうけさせていただきます。▼渋谷区広尾にある東北寺内龍源寺墓地・合同船は、墓地の継承者を気にしなくてもよい永代供養塔です。龍源寺の規則を守っていただければ、どなたでもこのお墓を使用できます。▼来年、早いもので、泰道和尚・志ずの七回忌を迎えます。法事の準備を少しずつ進めております。▼縁があって、母方の祖母と同居することになりました。境内の草も抜いていただける、留守番もしていただける、裁縫もしていただける、一緒に住んで、いいことばかりの毎日です。お友達も多いようで、おばあさんを訪ねに来られる方も、たくさんいらっしゃいます。まさに、「老いたるは、なお、うるわし」です。▼母は茶道の先生・民生委員と活躍中です。約五年前のお料理の本の改訂版が出版されました。前回の本の装丁を新たにしたものです。妻、亜矢も会社の仕事と龍源寺の仕事と家庭を両立して、がんばっております。四月には、北軽井沢・日月庵での研修中のお食事作りなどをしました。弟二人も元気にしており、二人とも家庭と仕事を大切にしております。戸塚で住職をしている弟も、二週間、一緒に妙心寺に詰めました。従兄弟の龍雲寺住職も一緒でしたので、大変貴重な時間を本山、妙心寺で過ごさせていただきました。▼お盆を前に、本堂のお位牌拭きを、六月三十日、朝より行います。お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、宜しくお願い申し上げます。また、盂蘭盆会の七月九日、十三時より、ちらし寿司に使う、お野菜の刻みを行います。お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、宜しくお願い申し上げます。盂蘭盆会にお会いできるのを楽しみにしております。

（松原信樹）